



日本代表の座を目指してミニゲームを行う選手たち。東浦町のあいち健康プラザで

和が命!

電動車いすサッカー

電動車いすサッカー第一回ワールドカップの日本代表第二次選考会が二十一、二十二の両日、東浦町のあいち健康プラザで開かれた。重松弘昭代表監督が見守る中、全国から集まった候補選手二十三人がチームを組み替えながら十分間のミニゲームを行い、八人の登録選手を目指した。結果は四月中に発表される。電動車いすサッカーは一チーム四人で構成される。昨年、国際ルールが決まり、これまで守備側二選手の電動車いすの最高速度は時速四キロ、攻撃側二選手は時速六キロまでと制限されていたのが、一律時速十キロまでにアップ。ポ

東浦で日本代表選考会

ルの直径も従来の五十センチから三十三センチと小さくなり、ゲームはよりスピード感あふれるものになった。基礎技術は十分な選手がそろっているとおって、重松監督は「周囲を見てパスかドリブルかの判断をしっかりとできる選手、和を持った選手を選考したい」と話していた。二十二日は、NPO「STAND」が選考会の様子の一部を携帯電話とインターネットを使って生中継。元サッカー日本代表監督で、電動車いすサッカー日本代表アドバイザーの岡田武史さんらによるトークショーなどもあった。ワールドカップは東京都江東区の東京スポーツ文化館で十月八日から十三日まで開かれる。(松本芳孝)

中日新聞
2007年4月24日(火)